	は3とする。） 算式Ⅷ H＝1／h 算式Ⅷの符号 h　厚生労働省において公表した一般職業紹介状況における平成26年11月から平成27年4月までの各月における有効求人倍率（平成30年3月2日現在における最近の季節調整値）の合計数を6で除して得た数（小数点以下2位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） I　次の算式Ⅸによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とする。） 算式Ⅸ I＝6,171,609／i ［略］
市町村	算式 （0.4×A＋0.075×B＋0.075×C＋0.075×D＋0.075×E＋0.075×F＋0.075×G＋0.075×H＋0.075×I）×0.849 0.4×A、0.075×B、0.075×C、0.075×D、0.075×E、0.075×F、0.075×G、0.075×H及び0.075×Iに小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 算式の符号 ［略］ H　次の算式Ⅷによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とする。） 算式Ⅷ H＝1／h 算式Ⅷの符号 h　厚生労働省において公表した当該市町村が所在する都道府県の一般職業紹介状況における平成26年11月から平成27年4月までの各月における有効求人倍率（平成30年3月2日現在における最近の季節調整値）の合計数を6で除して得た数（小数点以下2位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） ［略］
7　第五項の規定に基づいて行う経常態容補正Ⅱは、次の表の上欄に掲げる地方団体の種類につき、同表の下欄に掲げる算式及び算式の符号によつて算定した数（小数点以下二位未満の端数が	

	は3とする。） 算式Ⅷ H＝1／h 算式Ⅷの符号 h　厚生労働省において公表した一般職業紹介状況における平成26年11月から平成27年4月までの各月における有効求人倍率（平成29年3月3日現在における最近の季節調整値）の合計数を6で除して得た数（小数点以下2位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） I　次の算式Ⅸによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とする。） 算式Ⅸ I＝6,171,610／i ［同左］
市町村	算式 （0.4×A＋0.075×B＋0.075×C＋0.075×D＋0.075×E＋0.075×F＋0.075×G＋0.075×H＋0.075×I）×0.913 0.4×A、0.075×B、0.075×C、0.075×D、0.075×E、0.075×F、0.075×G、0.075×H及び0.075×Iに小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 算式の符号 ［同左］ H　次の算式Ⅷによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とする。） 算式Ⅷ H＝1／h 算式Ⅷの符号 h　厚生労働省において公表した当該市町村が所在する都道府県の一般職業紹介状況における平成26年11月から平成27年4月までの各月における有効求人倍率（平成29年3月3日現在における最近の季節調整値）の合計数を6で除して得た数（小数点以下2位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） ［同左］
7　第五項の規定に基づいて行う経常態容補正Ⅱは、次の表の上欄に掲げる地方団体の種類につき、同表の下欄に掲げる算式及び算式の符号によつて算定した数（小数点以下二位未満の端数が	